



**住まいとエネルギーのフェスタ 2004、開催**  
9月5日(日)

「これからの快適な暮らしを、環境首都いわてから」をテーマに、9月3日(金)から5日(日)まで、盛岡市アイスアリーナを会場に「住まいとエネルギーのフェスタ2004」が開催されました。当日は、県テーマゾーンやステージイベントなど多彩な催しが行われましたが、特に好評を博したのは、体験型のコーナーを数多く配した住宅やクリーンエネルギー関連の各県テーマゾーンのほか、餅まきや、有名お笑い芸人によるステージイベントでした。期間中、天候に恵まれたこともあり、来場者数は昨年度を上回る約1万7千人を記録し、盛況のうちに終了しました。



**御所湖広域公園町場地区基本計画策定懇談会を開催！**  
9月3日(金)

9月3日(金)、つなぎ地区活動センターにおいて御所湖広域公園町場地区基本計画策定懇談会が開催されました。これは、前年度策定した基本構想2案を基に、今年度計4回の懇談会を通じて基本計画1案にまとめていくもの。委員には、地元団体や、企業・住民などから、約20名が参加。今回は、今までの経緯説明、指定管理者制度の説明を行い、それぞれの紹介、感想等が話し合われました。今後は、さらに具体的に、地域として実現可能な1つの形、施設・運営も含めて懇談会を進めていきます。



**軽米町笹目地区道づくり「岩手スタンダードモデル事業」住民懇談会を開催**  
9月1日(水)

9月1日(水)19時より軽米町笹目地区下野場営農研修館において、ローカルスタンダードに基づく道路整備についての第1回住民懇談会を開催しました。当日は、21名の方が出席し、地域の実情に応じた岩手の道づくり(1.5車線の道路整備)についての考え方、事例等をパワーポイントを使って説明しました。7月に6名の地区長が現場調査をし、問題箇所について事前に意見集約をしていたため、懇談会では冬期間のすれ違いや除雪時の雪の置場などについての意見が活発に出されました。懇談会で出された意見は、地域の区長が持ち帰り広く住民の意見を聞いた上で、第一回住民懇談会の意見調整をし、計画案を作成する予定です。



**「地域の実情に応じた岩手の道づくり」住民懇談会を開催**  
9月8日(水)

9月8日(水)に、陸前高田市矢作町三の戸地区でローカルスタンダードに基づく道路整備についての住民懇談会を開催しました。日中の開催にも関わらず委員をお願いした地元の区長さんら16名の方が参加。ローカルスタンダードによる1.5車線の道路整備について説明を行い、その後実際に整備予定区間1.4kmを歩いて改善要望箇所を点検しました。今回の懇談会では、特に2車線での整備にこだわらず地域の実情に応じた道づくりについて、区長が中心に話をまとめるとの心強いお言葉がありました。地域の方々の道路整備への熱意が感じられる懇談会でした。



## 普代小学校で出前事業を開催！

8月31日(火)

8月31日(火)、普代村立普代小学校において5年生児童20名を対象に出前事業を開催しました。

当日は、久慈地方振興局土木部の職員が講師をつとめ、道路工事の例を挙げながら、道路の役割や仕事の内容について説明しました。

子供たちからは、「アスファルトの原料が石油であることを初めて知った」、「普段使っている道路を見えないところで管理している人がいることが分かった」等の感想がありました。

子供たちが真剣に話を聞いている姿や途中のトークで織り交ぜた小ネタで爆笑する姿が印象的で、非常に勉強になる経験となりました。



## 大槌北小学校で川の観察会を開催！

9月22日(水)

9月22日(水)、大槌川において大槌町立大槌北小学校4年(2クラス43名)を対象に川の観察会を開催しました。これは、遊びを通して川の大切さを学び、「環境意識の高揚」と「総合学習」の支援を目的として、釜石地方振興局土木部が開催したものです。

子供たちからは、「水生生物調査は初めてで、特にカジカを捕まえられうれしかった」、「川にゴミを捨てないようにする」、「家庭排水を少なくするよう気をつける」等の感想がありました。

児童の中には、川で遊んだことがない子供もいましたが、この学習を通して水質(川)の大切さが理解されたほか、学校の近くを流れる身近な川で、今まで気づかなかったことを発見する機会になりました。



## 岩手県被災宅地危険度判定士養成講習会を開催

9月17日(金)

9月17日(金)、盛岡地区合同庁舎で岩手県被災宅地危険度判定士養成講習会が開催されました。

被災宅地危険度判定制度は、市町村において災害対策本部が設置されるような大規模な地震又は大雨等のため、宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合に、被災宅地危険度判定士を活用して被害の発生状況を迅速かつ的確に把握し、危険度判定をすることによって、二次災害を軽減、防止し住民の安全を図ることを目的とするもの。

岩手県の被災宅地危険度判定士は、平成16年度登録の89名を含み198名となり、今後、被災地において、地元市町村長又は、都道府県の要請により被災宅地危険度判定を行って行きます。



## スカイフェスタ 2004、盛大に開催！

9月23日(木)

今年の「スカイフェスタ 2004」は、9月23日(木)(9時00分～16時00分)に開催されました。会場の花巻空港には、好天にも恵まれ12,251名の大勢の方が来場しました。

今年は、開港40周年に併せ、様々なイベントが開催されました。

子供と小型機との綱引きや2機のディープブルーズによるアクロバット編隊飛行のほか、花巻農業高校の生徒による鹿(しし)踊りや地元保育園児による演舞が披露され、会場を大いに盛り上げました。